

大学入学希望者学力評価テスト（新テスト）の記述式問題についての 国立大学協会の検討状況に関する報道について

国立大学協会入試委員会において、11月4日に文部科学省から示された案について協会としての考え方をまとめるべく検討していることは事実であるが、まだ検討中の段階であり、現時点でその内容を申し上げる段階にはない。

ただし、一部報道されているような「新テストでの長文記述式問題実施は不要」とか、「文科省案に異論」というようなことではなく、文部科学省の提案を評価しつつ、試験実施上の課題や受験生の立場にも配慮しながら、大学入学者選抜全体を通して、論理的思考力・判断力・表現力等を適切に評価するものとなるよう、国立大学協会として建設的に貢献していくための議論を行っているところである。

このように、未確定の情報により社会の混乱をまねきかねない今回の報道については、誠に遺憾である。

国立大学協会としての考え方の具体的内容については、12月8日の理事会の審議を経て結論をとりまとめた上で、速やかに公表し説明したいと考えている。

平成28年12月2日
国立大学協会入試委員長
片 峰 茂